

青森県原子力防災訓練に参加しました

10月25日、青森県が主催する「青森県原子力防災訓練」に参加しました。

訓練では、早朝時間帯における電源確保などの実働訓練をはじめ、トラブル事象の進展や長期化により想定される課題への対応策を検討しました。

当発電所では、今後も万一の原子力災害発生に備え、国や県、関係市町村と連携しながら、さまざまな訓練を実施し、緊急時の対応力向上に努めてまいります。



対策本部長の指揮のもと事態の収束策を検討



原子炉建屋に電気を送るための電源車の接続訓練

【訓練に参加して】

万一、全ての電源が喪失した場合に備え、車両型の電源装置を重要施設に接続する訓練に取り組みました。今後も訓練を積み重ね、確実かつ迅速に作業できるよう技能向上に努めてまいります。



電気保修課 大友健太

東通中学校において「環境・エネルギー教室」を開催しました

10月27日、東通中学校3年生の生徒を対象に「環境・エネルギー教室」を開催しました。当日は、地球温暖化とエネルギー消費との関係をはじめ、発電模型の実演や自転車による発電体験を通じて、電気が作られるしくみを学びました。

生徒からは「地球温暖化を防ぐには、一人ひとりの心がけが大切だと感じた」「自転車による発電体験や模型を使った説明は分かりやすく楽しかった」などの感想が寄せられました。当発電所では、今後も、地域の未来を担う子どもたちの健やかな成長を応援してまいります。



模型を使った発電のしくみの説明に聞き入る生徒たち



自転車による発電体験の様子

「第49回東通村産業まつり」に電力コーナーを出展しました

11月5日に行われた東通村主催の「第49回東通村産業まつり」に、東京電力ホールディングス(株)と共同で電力コーナーを出展しました。

東通村産業まつりは、東通村における農林水産物の収穫を祝うもので、子どもに人気のサケのつかみ取りや木工教室、新鮮な野菜や海産物・東通牛などの特産品の販売が行われ、村内外より多くのお客さまが来場しました。

電力コーナーでは、発電所員が、ご来場いただいたお客さまにコーヒーの無料提供とエネルギーに関するミニクイズを実施し、回答者にはお菓子と粗品をプレゼントしました。



電力コーナーでくつろぐ来場者



ミニクイズに挑戦する子どもたち

地域で活動する所員を紹介します

共通の趣味やスポーツを通じ、地域の皆さんと活動をとにする所員の中から、近年精力的に活動するソフトテニス部を紹介します。



部長 堤 晋哉
(発電管理課)

発電所ソフトテニス部は、所員同士の親交や健康増進、社内大会への参加を目的に発足したサークルです。部員数は17名で、年齢や経験年数はさまざまですが、時間を見つけては、ソフトテニスを楽しんでいます。2年前に東通村の協会に加盟してからは、地域の方々と合同練習を実施したり、村の選手として大会へ出場するなど、活動の幅がぐんと広がりました。

これからも好きなソフトテニスを通じて地域の方々との交流の輪を広げていきたいと思っています。

東通村ソフトテニス協会

眞賀 勝彦 会長より一言

最近では、東北電力の皆さんをはじめ、村内やむつ市から愛好者が集うようになり賑わってきました。20数年来の目標としていた青森県民体育大会での優勝(平成27年・町村の部)は、長年続けてきた仲間づくりが実ったものと感じています。技術力アップはもちろんのこと、さらに仲間を増やしていくことで、地域のスポーツ振興につなげたいと思います。



「東通村ソフトテニス秋季大会」参加者の皆さんと